

## 顎関節症について

病 名	病気の症状や対応について	難病の団体・HP
顎関節症	<p><b>◇症状</b></p> <p>顎関節症はこのあごの関節に痛みを感じたり、偏頭痛や耳の痛みを感じたり、顎の周囲の筋肉が痛くなったりする。その結果、口が開きにくくなったり、痛くてあごが動かしにくくなったりする病気である。また、あごの運動に引っかかりを感じると併にあご関節でカックンという音が鳴ったり、ガリガリと硬いものがこすれるような音がしたりする事もある。</p> <p><b>◇原因</b></p> <p>喰いしばりなどの原因であご関節に強い力が加わることによって起こる。この喰いしばりはさまざまな原因で発生してきます。例えば、精神的ストレスや首から頭にかけての痛みや違和感などによっても喰いしばりは生じ、また、声楽などで大きな口を開ける人やスポーツなどで大きな力を使う人にも生じてくることがある。また、このような喰いしばりは夜間の睡眠中に起こっていることが多く、しばしば朝起床時に口の開けにくさに気付く。このように強い喰いしばりが起こると、あご関節の上下の骨の間にある関節円板の位置がずれてしまい、口を動かすとカックンという音が鳴ることがある。また、この時しばしば痛みを感じることもある。このような音が鳴らなくて、あご関節の引っかかり感を伴った強い痛みで口が開けられなくなることもある。</p> <p><b>◇治療</b></p> <p>飲み薬などの簡単な治療から複雑な手術まで病状にあわせて治療を行う。多くの場合、消炎鎮痛剤と筋弛緩剤などの薬を飲む治療とスプリントと呼ばれるマウスピースを用いた治療を行う。場合によってはあご関節に注射をすることもある。また、喰いしばりの原因をなくすように努めなくては治療効果が上がらないので、ストレスや生活習慣などについてカウンセリングを行う場合もある。このような治療で症状の改善がみられない場合には手術による治療が必要。手術法には顎関節鏡（整形外科で診断と治療のために膝関節などで用いられているのと同じ方法）による手術か、または皮膚切開によって直接関節組織を治す手術方法などがある。</p>	<p>日本臨床口腔外科医会  <a href="http://www.jacom.ms.gr.jp">http://www.jacom.ms.gr.jp</a></p>